資料１－１

平成３０年度平塚市在宅医療介護連携推進事業の取組

（ア）地域の医療・介護の資源の把握
（平塚市在宅医療・介護連携支援センター）
①医療機関、介護事業者等の所在地等の情報収集
必要に応じ、在宅医療・介護連携に関する調査の再調査等を実施する。医師会の会員を対象とした医療機関等を把握する。神奈川県への登録情報から介護事業所を把握する。

②医療・介護の資源のリスト又はマップの作成と活用
市内介護事業所における病態別対応状況一覧の内容を更新し、関係者に連携支援センターホームページで公開する。
平塚市ホームページ（ひらつかわくわくマップ）で市内の医療機関、介護事業所の位置情報を公開する。

（イ）在宅医療介護連携の課題の抽出と対応策の検討
在宅医療・介護連携の推進に係る市町意見交換会などで他市町の情報を参考にすることや地域包括ケアシステム構築に向けた研修会に参加するなどして、在宅医療介護連携の現状と課題を把握する。そのうえで平塚市の現状を踏まえて導き出した対応策について平塚市在宅医療介護連携推進協議会の場などで意見をもらう。

（ウ）切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進
平塚市内の介護事業所における病態別対応状況一覧の内容を精査するとともに引き続き関係機関に配布をする。

（エ）医療・介護関係者の情報共有の支援
①情報共有ツールの作成
「ひらつか安心ファイル」、「ひらつかあんしんカード」、「入院時退院時情報提供書」を活用する。

②情報共有ツールの導入支援と活用状況の把握
ひらつか安心ファイルについて、アンケートで配布数や活用状況を把握するとともに内容の見直しを検討する。

（オ）在宅医療・介護連携に関する相談支援
（平塚市在宅医療・介護連携支援センター）
①在宅医療と介護の連携を支援する相談窓口の運営
地域の在宅医療・介護連携を支援するために地域の医療・介護関係者、地域包括支援センター等から在宅医療・介護連携に関する相談支援を行う。

②医療・介護関係者からの在宅医療・介護連携に関する相談への対応等

相談を受けた困難ケースについては三師会と協力して対応する。また、医療・介護に関する情報を連携支援センターホームページなどで情報提供を行う。

（カ）医療・介護関係者の研修

（平塚市在宅医療・介護連携支援センター）

①多職種が連携するためのグループワーク等の研修

多職種の連携を促進するため、三師会と協力して合同研修を開催する。１０月に口腔機能等をテーマに歯科医師会、医師会、薬剤師会と協力して医療関係者、介護事業者、地域包括支援センターとの人材育成セミナーを開催する。

②医療・介護関係者に対する研修

５月３１日に薬剤師会の在宅支援拠点薬局と包括支援センターの交流会を開催した。また、医師会と協力してサポート医と地域包括支援センターとの交流会を開催する。

（キ）地域住民への普及啓発

（平塚市在宅医療・介護連携支援センター）

地域での「将来に備えた終末期ケアの在り方・在宅での看取り」について普及啓発を行う。

（７月２０日リフレッシュプラザ平塚など）

平成３１年３月２日に中央公民館にて市民を対象としたフォーラムの開催を行う。

（ク）在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携

地域包括ケアシステム及び在宅医療・介護連携の推進に係る市町村意見交換会に参加する。